

議会だより

福島県中島村議会



<令和元年度 春の交通安全・防犯パレード 滑津小学校 令和元年5月29日>

◇ 第2回定例会 令和元年度補正予算算	2
◇ 村長報告 条例 人事案件	3
◇ 行政報告	4
◇ 一般質問	5~8
◇ 委員会報告	9~10
◇ 第7回追跡レポート	11
◇ 住民の声 議会のうごき	12



なかじぞうさん

第2回議会定例会

一般会計補正予算

196,615千円増額を議決



第2回議会定例会は、6月7日から12日までの6日間で開催しました。

今定例会は、報告2件、条例の一部改正9件、補正予算6件が村長から提出され審議の結果、原案のとおり可決し、陳情の採択に伴う意見書の発委案2件が、総務教育常任委員会委員長から追加提案され原案のとおり可決されました。

一般質問では、4名の議員が登壇し、阿武隈川サイクリングロード、ふるさと納税、農業後継者、子ども避難の家、両小学校の将来の姿、温泉利用の無料バスの運行など村の考えを問いました。

○会計別補正予算

単位：千円

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	3,451,084	196,615	3,647,699
国民健康保険特別	563,617	-7,263	556,354
簡易水道特別	195,759	28	195,787
土地造成事業特別	64,319	0	64,319
農業集落排水処理事業特別	249,172	486	249,658
介護保険特別	458,365	8	458,373
合計	4,982,316	189,874	5,172,190

令和元年度
一般会計
補正予算

一般会計補正予算は、1億9661万円を追加補正し、予算総額3億4769万円を原案のとおり可決しました。

歳入の主なものは、県支出金1億6398

万円、繰入金2321万円を増額補正しました。

歳出の主なものは、民生費903万円、衛生費1億6430万円、土木費1103万円増額補正しました。

増額 2億5779万円

円 民生費（プレミアム付商品券費）

衛生費（除染対策事業費）

令和元年度
特別会計
補正予算

特別会計補正予算は、5会計中1会計が減額補正、3会計は増額補正、1会計が事業費への準備費充当によるものでした。

減額 726万円
国民健康保険特別会計

議決された条例

◇中島村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

人事院及び福島県人事委員会規則において、超過勤務の上限が定められたことに伴い、本村においても規則で定めるための改正

審議結果 原案可決

◇職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

福島県人事委員会規則の改正に伴う通勤手当の限度額の改正

審議結果 原案可決

◇中島村税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律が公布、施行されたことに伴い、地方税各税についての所要の改正

審議結果 原案可決



◇災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

災害援護資金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、利率等が改訂されたための所要の改正

審議結果 原案可決

◇中島村ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

児童手当法の一部改正により支給制限期間が改正されたことに伴い、本条例の所要の改正

審議結果 原案可決

◇中島村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

財政運営主体である福島県より示された標準保険料率及び限度額等についての所要の改正

審議結果 原案可決

◇中島村介護保険条例等の一部を改正する条例

元号が変わったこと、及び消費税率が引き上げられることによる所要の改正

審議結果 原案可決

◇中島村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

元号が変わったことによる所要の改正

審議結果 原案可決

◇中島村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

児童館職員である放課後児童支援員の資格についての改正

審議結果 原案可決

人事案件

△敬称略▽

◎同意した人事

◇中島村副村長の選任

前小針副村長の任期満了に伴い、新たに副村長が選任された。



氏名 吉田 政樹
(元 村)

村長行政報告

カリ肥料の配布及び散布

稲作農家に対するカリ肥料の配布及び散布事業は、今年で8年目を迎え、米の風評被害払拭と放射性セシウム吸収抑制対策として実施し、目的通りに効果達成できることが期待されます。また、関係機関とも協力しながら、福島ブランド米の復活に向けた取り組みを引き続き推進していきます。

道路側溝堆積物撤去・処理支援事業

道路側溝堆積物撤去・処理支援事業は、5月末までに最終処分場への搬出が終了しました。最終年度となる今年度は、松崎、代畑、岡ノ内、小針の4地区について、早期に工事を発注していきます。

全村一斉クリーンアップ事業

全村クリーンアップ事業は、4月7日に実施し、集落内や河川に捨てられたゴミを一掃でき、地域環境の美化を図ることができました。

さわやか中島杯ソフトボール大会

4月21日には「第24回さわやか中島杯」が開催されました。県内外から36チームが参加し、3ブロックに分かれて熱戦が繰り広げられ、なめつスポ少がヨカッペブロック準優勝と健闘しました。会場には、元氣な子ども達と、応援の保護者も多数来場され、交流の輪が広がっていました。

中学校の修学旅行

4月21日から25日までの5日間、中学校の修学旅行が実施されました。イナナムセカンダリースクールや、サバ大学学生との交流など、異文化に触れお互いを理解する良い機会となりました。



両小学校の運動会

両小学校の運動会は、5月25日の土曜日に開催されました。当日は30度を超す猛暑の中、子ども達は元気に各競技に参加していました。子ども達の本気で走る姿や演技を演じる姿は、見るものにも多くの感動を与えていました。



阿武隈川沿いにサイクリングロードを?

村長 県の豪雨対策緊急河川整備事業を要望していく

ふるさと納税をどのように推進していくのか?

村長 地場産品を取り扱う事業者に協力を求めていく



小室重克 議員

問

福島県道路整備

課HPでは、久慈川サイクリングロード・みちのくサイクリングロード・大川喜多方サイクリングロードが掲載されており、是非県南地方にも魅力的なサイクリングロードを整備する働きかけを県等にすべきと思いますが、見解を伺いたい。

答

村長

河川堤塘(ていとう)を利用したサイクリングロードは、自然公園、名勝、観光施設、レクリエーション施設等を結び、あわせて自転車利用の増大に対処するため、昭和48年度から全国各地で整備が始まり、福島県においても整備がすすめられてきた。しかし近年は、河川改修工事を重点的に推進され、以前のような整備は行われていませ

ん。

また、本村の河川堤塘の利用状況を見ますと水田の作業管理や水門の維持管理のため農耕車などの通行が見受けられます。自転車専用道路となると、これらの作業に支障が出てくると推測されます。福島県では、今年度より豪雨対策緊急河川整備事業を推進しており、この事業の中で河川堤塘の天端を改良舗装し自転車などを利用

する方への利便性を図る事業も含まれているため、この事業を県に要望していきたいと考えています。

問

地方税法の一部

を改正する法律の成立によりふるさと納税にかかわる指定制度が創設され、基準に適合した地方団体がふるさと納税(特例控除)の対象として指定する仕組

みとなりました。地場産品の少ない中島村には大きなハンデとなるが、どの様に推進していくのか伺いたい。

答

村長

ふるさと納税制度は、平成20年から始まり今年で11年目を迎えました。本村では、平成29年6月より、本格的に返礼品業務に取り組んだところ、全国の皆様から本村を応援する多くの御寄付を賜り、深く御礼申し上げる次第です。

ご質問の地場産品の定義ですが、基準に示された主な内容は村内生産のもの、村内の材料が大部分使用されているもの、村内で製造加

工されたものです。地場産品の推進については、前述した地場産品を取り扱う事業者を中心に、引き続き協力を求めていく予定です。

今回の改正により、ふるさと納税は大幅に減少することが見込まれていますが、引き続き県内外のPRイベント等にも参加し、地場産品の推進を図っていきたく考えています。



農業後継者の育成について?

村長 農業者への支援事業の推進と関係機関との連携を図っていく



小林 均 議員

子ども避難の家の現状は?

教育長 子どもの安全を第一に考えていく

問 中島村の農業に対する支援事業の現状及び今後の農業後継者減少問題にどう取り組むのか伺いたい。

答 村長

本村の農業が持続的に発展して行くためには、生産性と収益性が高く、効率的かつ安定的な農業経営を育成・確保していくことが重要であると思います。しかしながら、農業就労者が年々高齢化しており、本村においても農業後継者を確保することが課題となっており、次世代を担う意欲ある青年層の新規就農者の育成確保に向けた取り組みを推進していきたいと考えています。ご質問の本村の農業従事者数は540人で19・6%、農家戸数は435戸で38%となっています。

一般質問

年代別人口は、10代から40代は低く、50代から80代が多くなっています。中でも60代から70代の従事者が61%と大半を占めており、男女の割合は概ね半々となっています。

次に支援事業としては、水田利活用促進事業、直接支払交付金福島県営農再会事業、米の全袋検査、ブランドイメージ回復事業、多面的機能支払交付金事業、農業次世代人材投資事業、人材育成事業



などの各種事業に取り組んでいます。

今後は、農業者への支援事業の推進と併せ認定農業者や関係機関との連携を図り、具体的な取り組みを推進していきます。

問 子ども避難の家

は、子どもがいつでも逃げ込むことができる場所とあってはならない。しかし、その設置されている現状はどうなのか伺いたい。

答 教育長

「子ども避難の家」とは、子どものための緊急避難所設置の取組みによって設置された避難所であり、その背景には、平成9年度に兵庫県神戸市において児童が巻き込まれた悲惨な事件を契機として、全国的に「子どもたちの安全を守る組織づくり」という気運が高まり設置され、本村でも滑津小学校、吉子川小学校それぞれに設置しています。

本村の実態等について、「子ども避難の家」の件数は、滑津小学校では27軒、吉子川小学校では23軒を指定しています。いままで子ども避難の家に駆けこんだ実例及び件数については、滑津小、吉子川小共にそのような報告は有りません。子ども避難の家は機

能しているかということですが、事業所であれば営業日・営業時間の範囲内、個人宅であれば日常生活の範囲内で受け入れてもらえるよううにお願いしており、現在指定しているところについては、すべて機能していると認識しています。

見直しについては、滑津小でH29に1軒減、吉子川小については、本年度に1軒変更という状況で、今後も子どもの安全を第一に考え毎年見直すべきところ、見直す考えです。



両小学校の将来の姿は？

教育長 現在のところ、小学校の統合は考えていない



椎名康夫 議員

問

吉子川小学校は昭和40年、滑津小学校は昭和41年、中島中学校は昭和54年に新校舎が完成しています。近い将来の人口減少、少子化は確実であり、その時に於いて2校の改築存続は、大きな負担となります。統合と言う方法も考えるべきと思いますが、村の考えを伺いたい。

答

教育長

吉子川小学校南校舎は昭和40年に、滑津小学校の鉄筋校舎1期分については、昭和41年に完成し、それぞれ建築から50年以上が経過しています。

その後、昭和45年に滑津小学校の鉄筋校舎第2期分が完成、昭和46年には吉子小学校北校舎が完成しています。平成8年には滑津小学校、平成16年には吉

子川小学校北校舎、平成24年には吉子川小学校南校舎の耐震補強工事をそれぞれ実施してきました。

耐震補強工事の目的は、震度6強程度の地震が発生しても、の建物が耐えられるような

補強をするものであり、建物そのものの長寿命化等を図るものではありません。

本村の両小学校については、今後とも適宜維持補修工事等を実施しながら使用していく考えです。

今後の人口減少、少子化は本村のみならず国全体として避けては通れない問題ですが、現在本村では、保育所保育料、幼稚園保育料及び給食費の無料化や、今年度は原山地区に宅

地分譲を計画しています。

このような施策を実施し、「人の集まる、子どもを育てやすい村づくり」を展開中であり、現在のところ小学校の統合は考えていません。

一般質問

滑津小学校



吉子川小学校 南校舎



吉子川小学校 北校舎



温泉利用の為の無料送迎バスの運行について?



小松公雄 議員

村長 運行及び体制など、運行事業者と共に協議し検討する

問

一年前の6月定例会で質問した後期高齢者の方々に温泉を利用してもらおうための無料送迎バスを出してはどうかと、その時の答弁でデマンド交通システムの中で出来ないか検討する旨の回答であったが、その後の経過を伺いたい。また、デマンド交通を自己負担なしで利用できないか再度伺いたい。

答

村長

昨年6月定例会においてデマンド交通システムの中で、無料の送迎手段ができるかどうか検討していきたいと回答したところです。本年度も福祉事業の一環として温泉利用券の配布及び無料バスポートの交付を行い、福祉センターの飲泉施設の利用促進と、村民の健康維持に努めている

一般質問

ところで、温泉利用とデマンドバスの運行について、調査検討してきたところですか。

昨年の温泉無料券の利用状況ですが、温泉無料券5,460枚を発行し、45%にあたる2,451枚が、また、75歳以上の方を対象とした無料バスポートについては、40%にあたる307名の方が登録し利用されています。その際、デマンド交通を利用して温泉を利用した方は月平均33人、一日当たり1.1人と



なっており、自家用車での利用が多いことがうかがえます。

デマンド交通の運行形態ですが、マイクロバスについては、高校生及び幼稚園児の送迎、小学校から児童クラブまでの運行と、スケジュールに空きがない状態となっています。

また、ワゴン車については、通院や買い物、温泉利用など一般客の予約に対応することが

ら、現体制で温泉送迎運行に振り向けることは難しい状況にあると考えられます。

以上の事から、高齢者の温泉利用や、無料送迎バスの運行時の利用の有無等の調査を実施し、デマンドバスの運行及びその体制など、運行事業者と共に協議し、実施の有無についてさらに検討を進めていきたいと思っています。

中島交通システム事業

予約受付時間 7:30~16:30

予約締め切り時間	童里夢号	出発時刻(便)
7:40	8:00便	(8:00~8:29)
8:00	8:30便	(8:30~8:59)
8:30	9:00便	(9:00~9:29)
9:00	9:30便	(9:30~9:59)
9:30	10:00便	(10:00~10:29)
10:00	10:30便	(10:30~10:59)
10:30	11:00便	(11:00~11:29)
11:00	11:30便	(11:30~11:59)
11:30	12:00便	(12:00~12:29)
12:00	12:30便	(12:30~12:59)
	13:00便	(13:00~13:59)
13:30	14:00便	(14:00~14:29)
14:00	14:30便	(14:30~14:59)
14:30	15:00便	(15:00~15:29)
15:00	15:30便	(15:30~15:59)
15:30	16:00便	(16:00~16:29)
16:00	16:30便	(16:30~16:59)
16:30	17:00便	(17:00~17:29)

村内は **どこでもOK!**
 村内 200円小学生 100円
 村外 300円小学生 200円

ご予約は **30分前までに!**

土・日曜日はお休みです。

委員会報告

総務教育常任委員会

委員長 小室辰雄
副委員長 木村秋夫
委員 小室重克
委員 小松公雄

総務教育委員会は、付託のあった陳情3件について、6月9日委員会を開催し、内容を審議しました。

審査結果は「採択」2件、「不採択」1件でした。採択の2件については、発委第2号、第3号として本会議に提出し、可決されました。

【採択】

◎件名

令和2年度及び復興・創生期間後も国の『被災児童生徒就学支援事業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出を求める陳情書

業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出を求める陳情書

◎陳情団体

福島県教職員組合

◎件名

教職員の長時間過密労働の解消に向けた意見書提出を求める陳情書

◎陳情団体

福島県教職員組合西

白河支部

【不採択】

◎件名

「ふくしま学力調査」中止の意見書提出を求める陳情書

◎陳情団体

福島県教職員組合西白河支部

議会広報編集委員会

委員長 小室重克
副委員長 椎名康夫
委員 小林 均
委員 小松公雄

議会広報編集委員会は、7月25日に委員会を開催し、議会だより8月号の編集業務を行いました。



議員研修

議員研修「広報委員会」

「村民に親しまれる議会だより」を目指す

5月22日郡山市「ビツクパレットふくしま」において、町村議会広報研修会が開催され、広報編集委員会全員で参加してきました。

研修会は、「議会活動が伝わり住民に役立つ効果のある『議会だより』の編集」と題し、広報コンサルタント・議会広報サポーターの芳野政明氏の講義を受けました。



報像を編集方針として3つの編集ポイントの基本として、今後の議会広報づくりに生かす、村民に親しまれる「議会だより」になるよう努めてまいります。

鈴木新平議員が 自治功労者表彰

令和元年6月3日、福島県町村議長会定期総会において、鈴木新平議員が自治功労者表彰を受賞されました。

この表彰は、鈴木議員が平成19年9月に初当選され、議会議員として11年以上ご活躍された功労者に贈られたものです。

6月定例会の開会に先立ち、表彰伝達式が行われました。



滑津小学校 春の交通安全・防犯パレード

令和元年

5月29日滑津小学校児童による春の交通安全・防犯パレードが行われました。

天候にも恵まれ、小学校から生涯学習センター輝ら里まで、沿道の方々の声援を受けながらパレードを行い、交通安全と、防犯の呼びかけを行いました。

今年度の運動の重点目標は、「子どもと高齢者の安全な運行の確保と、高齢運転者の交通事故防止」です。特に高齢運転者の交通事故が増えています。



みんなで注意し、事件事故のない毎日心がけましょう。



滑津小学校 役場庁舎見学

令和元年6月24日滑津小学校3学年児童33名の皆さんが課外学習

授業で中島村役場を見学に来ました。各課の業務について

説明を聞き、村長と面会后、初めて見る議場や議員控室に興味津々で熱心に説明を聞いていました。



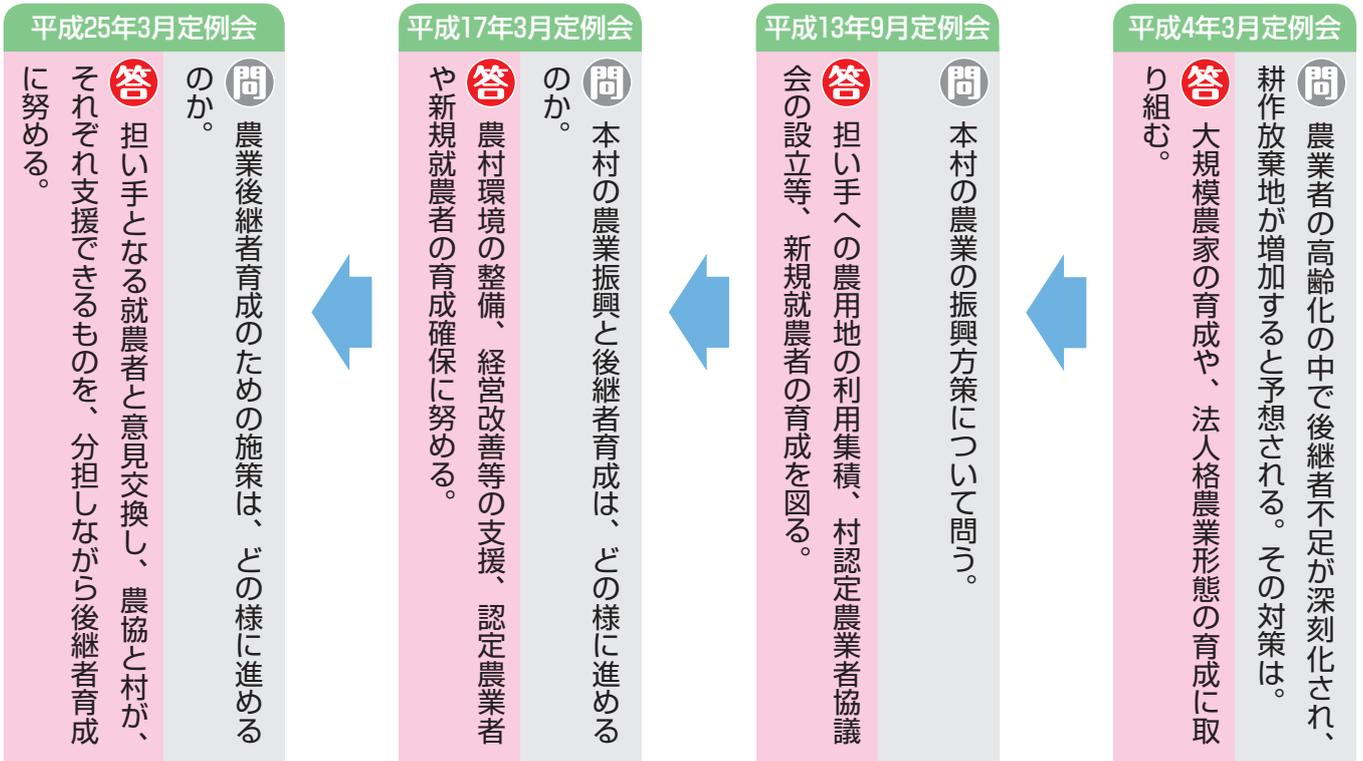
第7回

レポート 追跡

あの提言 どうなった！！

議会が行う質問や提言が、
村政に反映されたか。
これまでの一般質問の中
から一部を取り上げ、事業等
を検証しました。
◎は議員、◎は村長等

中島村の農業後継者育成について ★ 問 う ★



平成31年3月定例会

問 中島村の農業に対する現状及び今後の農業後継者減少に対する対策は？

答 農業従事者割合は、住民の1割、世帯数の3割、60代から70代が、農業者の大半を占める。農業者へ支援事業の取組と合わせ、認定農業者や関係機関との連携を図り、具体的な取組を推進できるよう努める。

課題 農業戸数の減少や農業従事者の高齢化により、農地の荒廃が進む中、後継者不足の農業に不安を抱えている農家が多い。将来の農業施策を真剣に取り組む必要がある。



住民の



1テーマ4回掲載として10代～50代の村民の皆様から意見をいただいておりますが、No130号から60代以降の方々からも意見をいただくことになり、1テーマ10回掲載となりました。



声こえ

(8回目 / 全10回)

第1回テーマ



「18歳選挙権」

はが
芳賀 一輝 さん
会社員 19歳 浦原

議会のうごき	
4月 25日	例月出納監査
	26日 議会広報編集委員会
5月 8日	福島県町村議会議長会理事・監事合同会議(福島市)
	13日 中島村老人クラブ連合会総会
	14日 県南地方町村議会議長会連絡協議会(小野町)
	17日 中島村商工会通常総会
	22日 町村議会広報研修会(郡山市)
	23日 広域圏代表議会議長会議及び白河地方土地開発公社理事会(白河市)
	23日 例月出納監査
	25日 滑津小・吉子川小運動会
	26日 阿武隈川上流総合水防演習(郡山市)
28日～29日	全国町村議会議長会議・副議長研修会(東京都)
	29日 交通安全・防犯パレード(滑津小)
	10日 幼稚園入園式
	31日 第2回広域圏組合議会臨時会(白河市)
	31日 議会運営委員会
6月3日～4日	福島県町村議会議長会定期総会(福島市)
7日～12日	令和元年度第2回議会定例会
	7日 総務教育常任委員会
	8日 第72回福島県消防大会
	25日 例月出納監査
	28日 副村長退任式
7月 1日	新副村長任命式
	14日 福島県消防協会白河支部幹部大会(白河市)
	25日 議会広報編集委員会

第1回テーマは、「18歳選挙権」です。村民の方々に聞いてみました。

1 18歳選挙をあなたはどのように思いますか。

早いうちから政治に触れることで、選挙に関する関心度が高まり、また高齢化が進む中、若者の意見が反映されやすくなるのは良い事だと思う。

2 村、議会に期待することを教えてください。

この村は、高齢の方が多いと思う。若い人だけが住みやすい村ではなく、高齢の方の事を優先に、住みやすい良い村になってほしい。

3 自分の将来の夢・目標をお聞かせください。

この緑に囲まれていて、やさしい人々の村で一生を過ごすこと。

発行 中 島 村 議 会

〒961-0192 福島県中島村大字滑津字中島西11-1
電話 0248-52-3486 FAX 0248-52-2449

中島村 × 🔍 検索 中島村→村議会

村のホームページから村議会情報を見ることができます